サ文団連討論集会

四月以来、全学サの全てに対わ[illegible]れている日大斗争は、9 30大衆団交渉期に入り、新たなる局面を向かえつつある。

サ[illegible]においては、すでにある体制の前衛、学生に対し一定要性[illegible]もす、そして、[illegible]此サに[illegible][illegible]制[illegible][illegible][illegible]純[illegible]体た[illegible]

[illegible]表現は[illegible]発展するか否[illegible][illegible]編す[illegible]上げる時を如前衛的にすすめる、我々は、ここ[illegible]新しい、学習の文化論[illegible]大切なことをであろう。これは[illegible]争と学生の文団連こそ、体制側からの文化創造侵害に対し文化戦線をすい取って行かねばならない任務を有していることを忘れてはならず、サク学闘と向共闘から離し、ある者も離して文化活動から一つ重要者であるかのような非難を向きをして来たのである。この理論は、権力（体制側）の意見との中から常に[illegible]十数年何の意味[illegible]、だ、もはや文連本来の意味は、[illegible]の[illegible]をも把えるが[illegible]文連の本来の[illegible]指導性を有する事[illegible]であり、我々は傍系の、サークル活動と文化運動を行ない、我々は[illegible]それ故我々は文連の発展を図りねばならない。創造した文連を分析し、確認し新たなる文化論の構築はいきり日常的活動での関係に於いて必要である。ここに我々は新たな規定有つ総、討論集会を提起した。サークルにいかっているあらゆる体制を自らの手で打破する事こそ、学生のもつ最大のテーマである

日時 10月7日 AM11〜PM1

場所 法2F 講堂

文連 サ委